

# 浮魚情報（第7報）

令和6年9月12日  
宮城県水産技術総合センター環境資源チーム  
Tel : 0225-24-0139 Fax : 0225-97-3444

## カタクチシラス分布調査結果

### ○調査方法

- ・9月12日に県漁業調査指導船「開洋」にて、県仙南海域の共同漁業権内においてシラス分布調査を行いました。
- ・調査方法は、魚群探知機によりシラスやイワシ類と思われる反応を調べ、魚種確認のため、中層トロール網（10分曳き）による捕獲調査と漁場環境調査を行いました。

### ○魚群探知機航走調査結果

- ・St.2～St.3の岩沼沖の表層付近では、高頻度でやや濃い目の反応が見られました（図1）。

### ○中層トロール網による魚種の確認結果

- ・図1に示す山元沖T1及びT2、名取沖T3において中層トロール網を10分曳網した結果、T2では61尾、T3では229尾採取されました。T1は皆無でした。（表1）。漁獲物の体長はT2で8～26mm（平均18mm）、T3で17～33mm（平均27mm）でした（図3）。また、T2では25mm以下が主体で、T3は27mm前後が主体でした（図2）。カタクチシラスのCPUE（尾/網）はT3で昨年を上回っていましたが、T1とT2では昨年を大きく下回りました（図3）。

### ○漁場環境等

- ・調査海域の表層水温は26.9～27.3℃、底層付近は21.5～25.0℃となっていました（表2）。
- ・調査漁場の底層付近はSt.1およびSt.2で水産用水基準（6mg/L）を下回り、低酸素状態となっていました。

表1 各調査点の漁獲尾数

中層トロール調査点	カタクチシラス尾数	マシラス尾数	備考
T1	0	0	皆無。
T2	61	0	25mm以下が主体
T3	229	0	27mm前後が主体

表2 調査漁場の環境調査結果

St	時間	測定層	水温	塩分	pH	DO	
	水深(m)	(m)	(℃)			(mg/L)	
St.1	10:09	0	26.9	30.9	8.3	7.4	
		10.2	5	25.4	32.6	8.2	6.7
		B-1	24.1	33.2	8.1	5.2	
St.2	11:03	0	27.1	30.6	8.3	7.4	
		22.5	5	26.2	32.1	8.2	6.9
			10	25.0	33.5	8.2	7.3
			15	24.3	33.6	8.2	7.5
			20	22.4	33.7	8.2	6.8
		B-1	21.5	33.7	7.9	3.7	
St.3	11:49	0	27.3	28.3	8.4	10.3	
		10.0	5	25.8	32.6	8.3	7.5
		B-1	25.0	33.1	8.2	6.4	

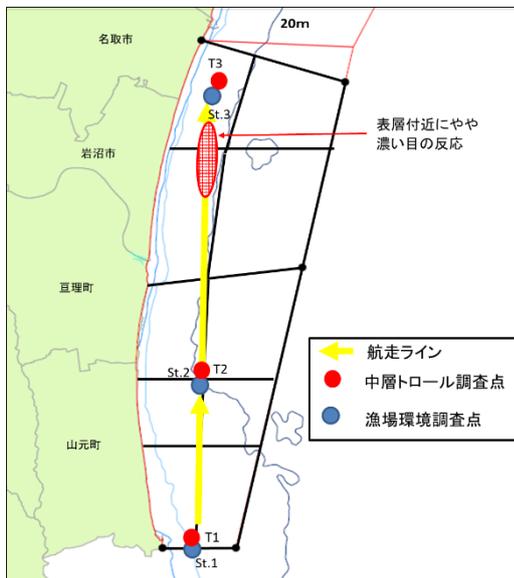


図1 航走ラインと中層トロール調査点

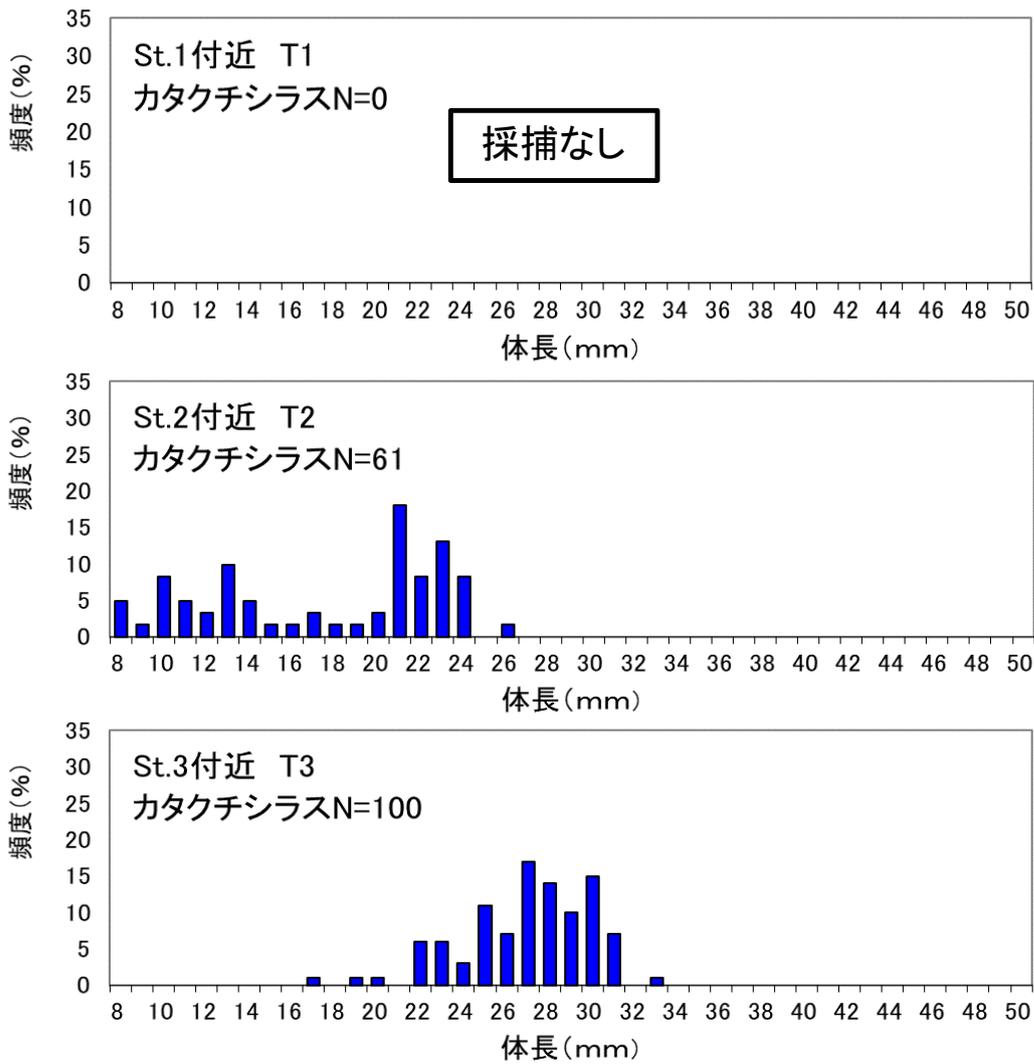


図2 中層トロールで採捕されたカタクチイワシ仔魚の体長組成

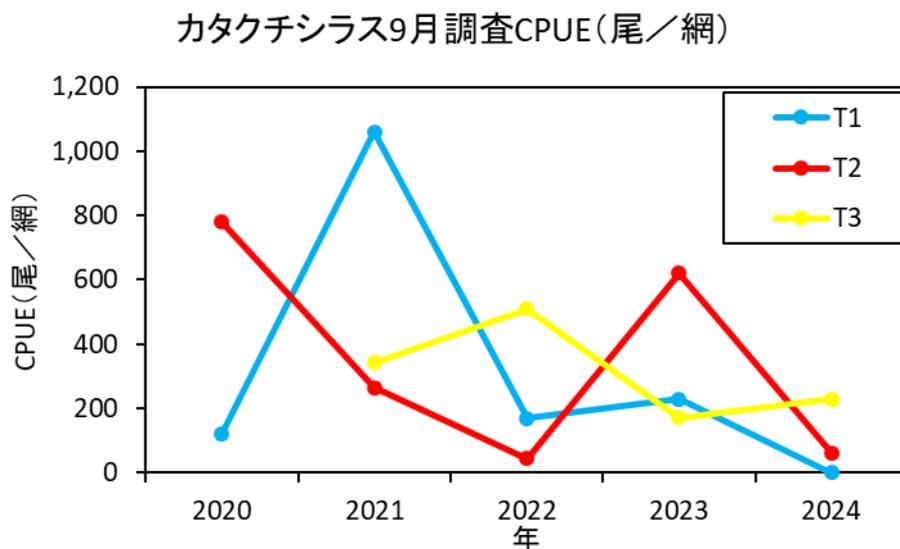
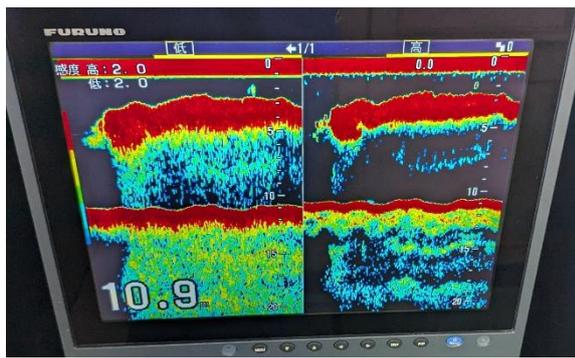
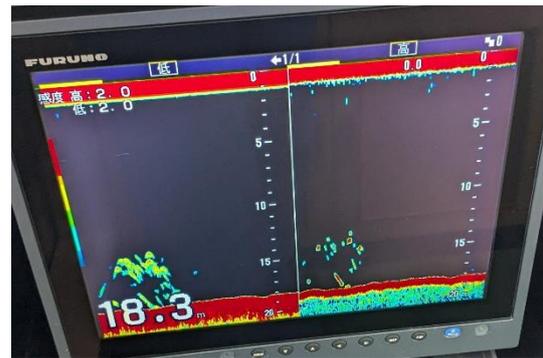


図3 中層トロール (10分曳網) で採捕されたカタクチシラスの CPUE (尾・網) の変化。

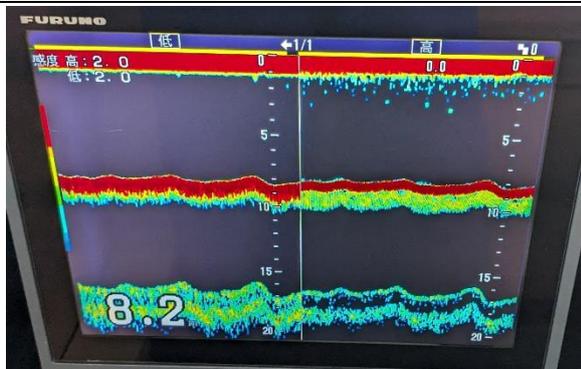
図4 魚探及び漁獲物写真



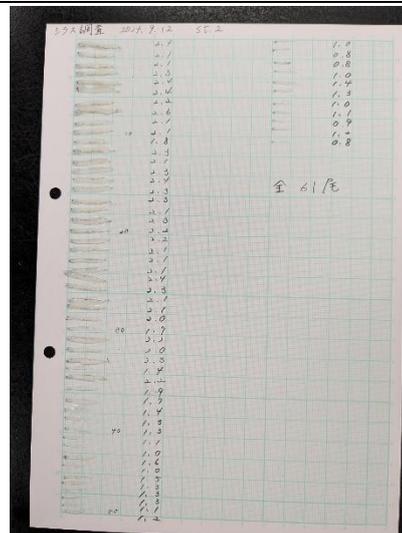
T1 魚探反応 (右側の高周波参照)  
 濃い反応が見られたが、中層トロール採捕できないサイズのいわし類と考えられる。  
 ※ナブラが出来ていた。



T2 魚探反応 (右側の高周波参照)  
 底層付近に反応あり。



T3 魚探反応 (右側の高周波参照)  
 表層付近にカタクチシラスと思われる反応あり。



T2 の漁獲物測定写真



T3 の漁獲物測定写真